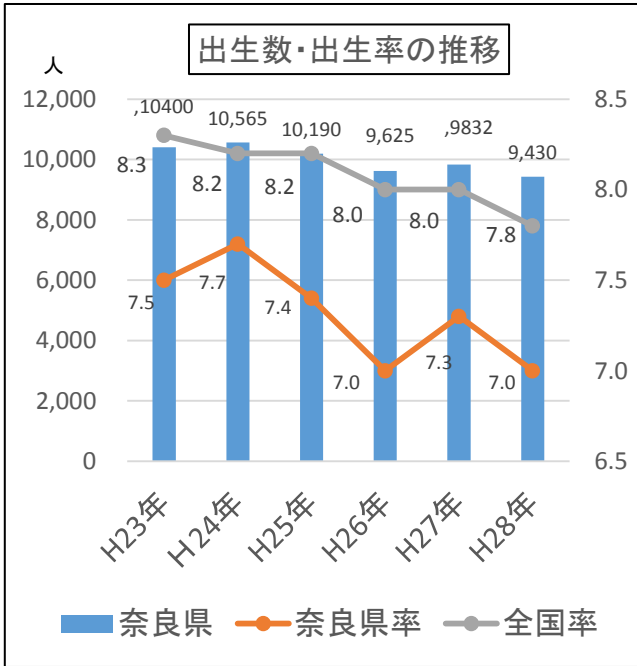
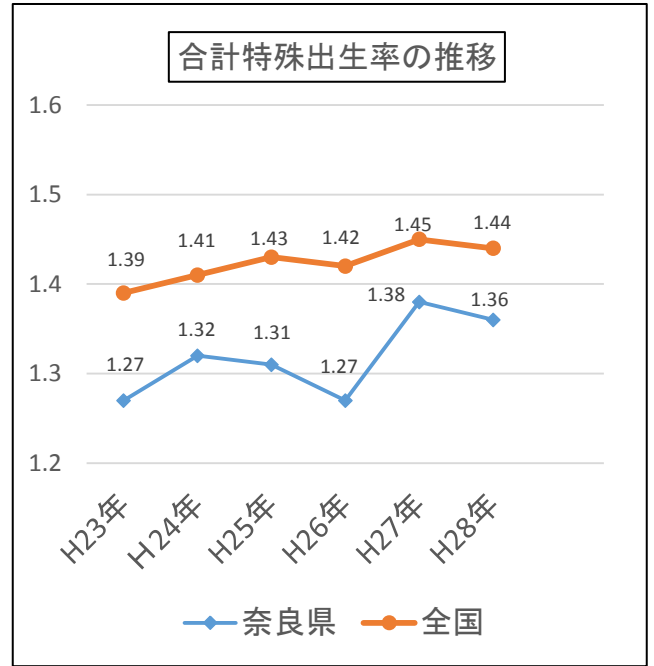


②

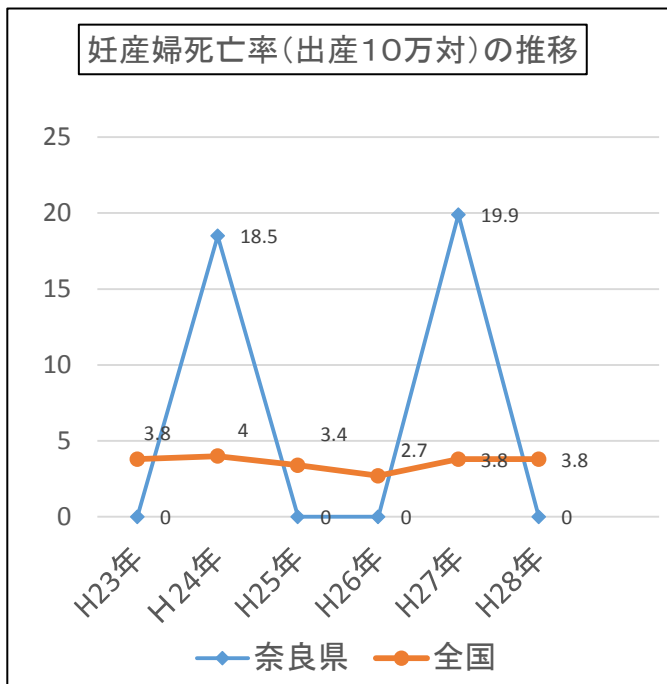


③

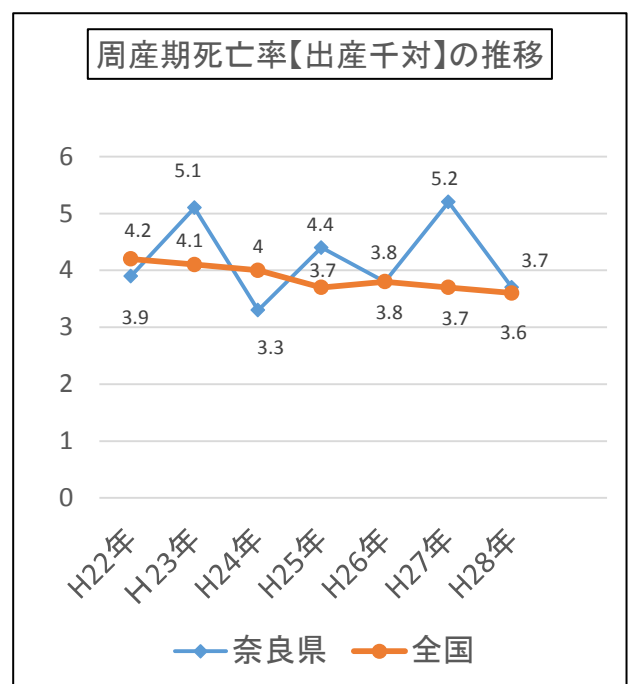


奈良県の平成23年から28年の出生数は年々減少しており、出生率・合計特殊出生率とも全国的に低下しており、奈良県においても同様の状況です。

④

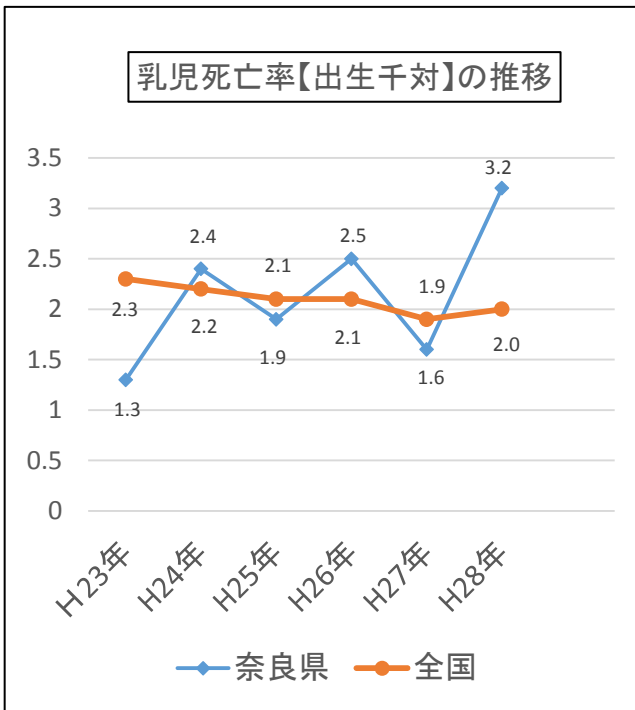


⑤

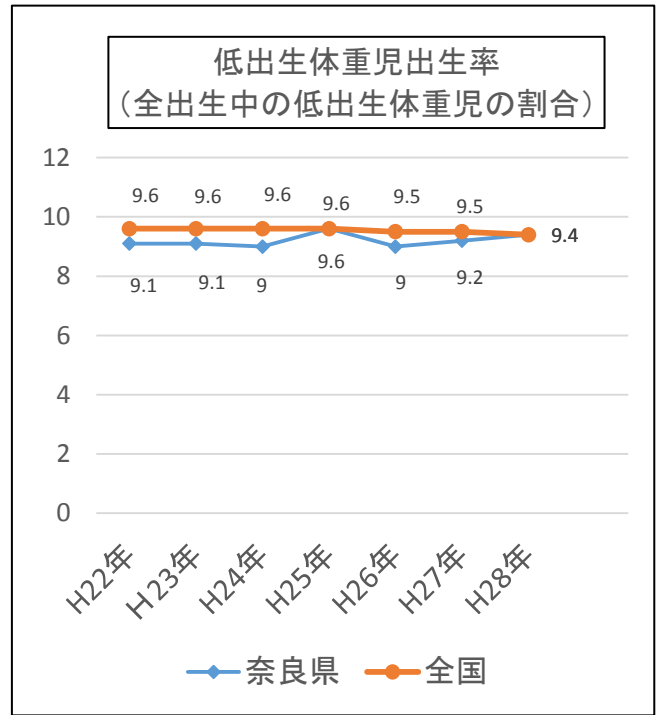


全国的には、妊産婦死亡率はほぼ横ばい。周産期死亡率は低下傾向にある。県においては、全国より高い傾向にある。

⑥



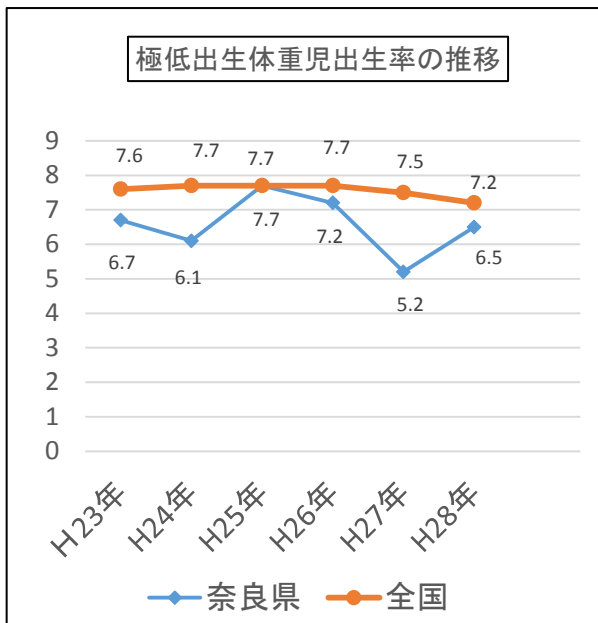
⑦



乳児死亡率は全国では低下してきているが、県においては、乳児死亡率は上昇傾向である。低出生体重児出生率は全国・県ともほぼ横ばいである。

出典：人口動態統計

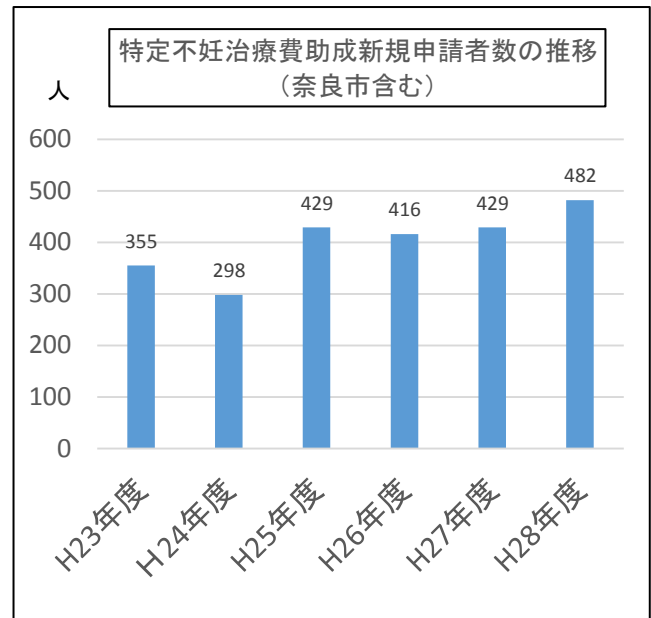
⑧



極低出生体重児出生率は、全国・県とも低下してきており、県は全国より低い

出典：人口動態統計

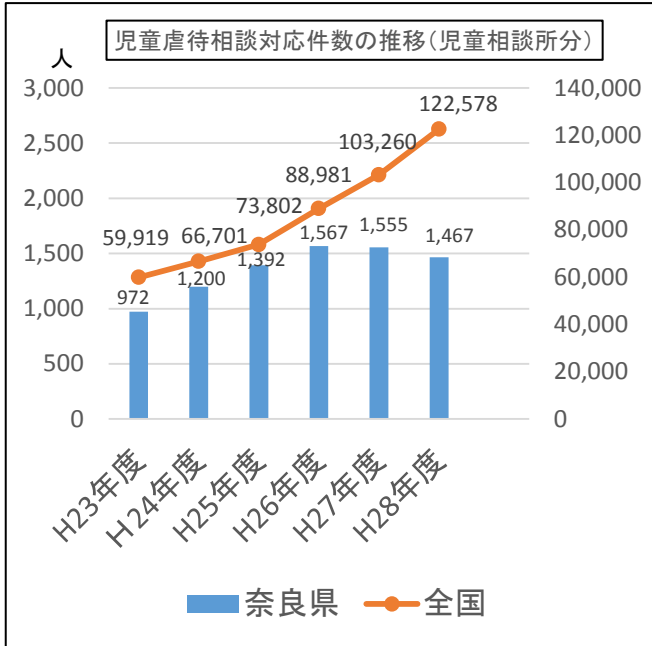
⑨



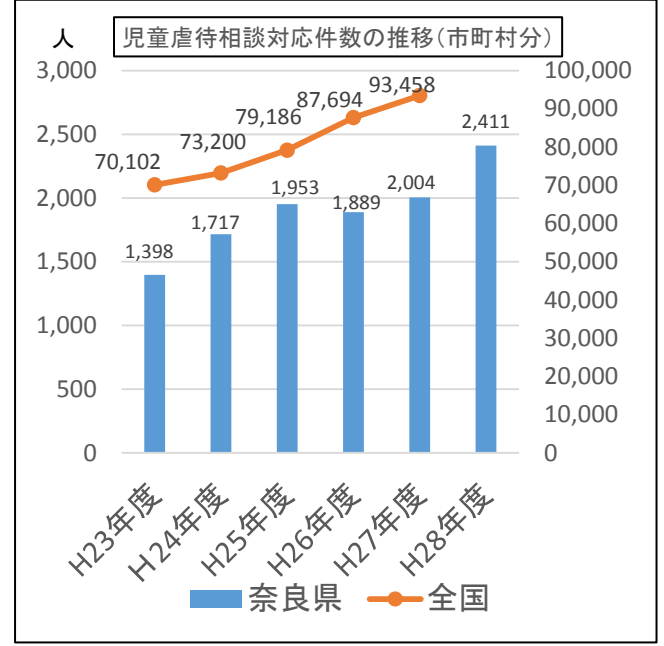
特定不妊治療費新規申請者数は、助成回数や妻の年齢による助成対象、回数の見直しが平成23年度、26年度、28年度に見直しがあったことにより、増加傾向にある。

出典：保健予防課調べ

⑩



⑪



児童虐待相談対応件数については、全国では児童相談所分、市町村分とも増加傾向にある。県においては、年により増減はあるが児童相談所分は平成28年に前年と比較して88件減少。市町村分は407件増加した。

出典:こども家庭課資料